



2

2017 FEBRUARY

あなたと町を結ぶ広報

なみえ

平成29年2月 No.613

毎月1回1日発行

- 2 ご成人おめでとうございます
- 5 町長からのメッセージ
- 6 みんなでともに乗り越えよう
- 10 確定申告
- 12 保健だより
- 14 児童作文・読書感想文コンクール
- 18 まちの話題
- 21 みんなの図書館／浪江町議会議員選挙
- 22 福島県・環境省からのお知らせ
- 23 東電による家屋の清掃／いつか役に立つ法律知識
- 24 情報ぴっくあっぷ
- 36 浪江のころ通信
- 40 連絡先一覧



火の用心
火の元しっかり
確認しましょう

今月の表紙

祝 平成29年浪江町成人式
 (1月8日 二本松市安達文化ホール)





本日、地元福島県で浪江町の仲間達と成人式を迎えることができ、誠に嬉しく思います。この日を迎えることができたのも、両親をはじめ周りの方々の温かい支えがあったからです。



● 請戸地区 ●
二階堂大地さん

20年間支えて下さった皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。成人式を迎えるにあたり、自覚と責任のある行動を心がけ、人の役に立てる大人になりたいと思います。現在、大学生ということもあり、挑戦するチャンスがたくさんあるので今までの経験を生かし、今まで以上に向上できるよう努力します。これから、立派な大人になるためにも感謝の気持ちを忘れることなく、社会に貢献できるように日々頑張ります。



● 幾世橋地区 ●
佐藤 光さん

このたび、無事に成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。

現在私は、福島県を離れて一人暮らしをしています。震災の経験や一人暮らしをしていく中で、より家族の大切さや友達の大切さを感じるようになりました。今まで悲しいことや辛いことがあっても乗り越えてこられたのは、家族や友人をはじめ、多くの方に支えていただいたか



● 浪江地区 ●
井上 桜さん

らだと思っています。これからは、支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れず、恩返しができるように将来の夢に向かって頑張りたいと思います。

この度、無事に成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。これも、両親をはじめ地域の方々、友人など多くの支えがあったからであり感謝の思いでいっぱいです。浪江町の復興はまだまだ進んでいません。その復興をこれから担っていくのは私達です。その自覚をしっかりと持ち、日々の生活を送っていききたいと思えます。



祝 平成29年 浪江町成人式



ご成人 おめでとうございます

1月8日、平成29年の浪江町成人式が安達文化ホール（二本松市）で行われました。出席した新成人151名は、輝く眼差しとはたちの志を胸に、堂々と羽ばたいていきました。今年もふるさとを離れての式となりましたが、久しぶりの友人・恩師との再会に、皆さんの笑顔があふれていました。



● 新成人代表 ●
横田 夏美さん
(荻野地区)

これから歩む新たな道への希望と不安を胸に、私たちは今日という日を迎えました。20年間を振り返り、皆さんは今、何を思いますか？

20年間色々なことがありました。脳裏に描かれるものは楽しいものばかりではないと思います。辛いこと、悔しいこと、忘れたくないこと、いろいろな出来事があったかと思えます。急な生活環境の変化や新たな生活に戸惑うこともありましたが、そんなとき支えてくれたのは両親や家族でした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。だからこそ両親や祖父母、そしてたくさんの人々の想いや記憶が刻まれた浪江町の成人式に、参加できることをとても嬉しく思います。目に見えずとも、私たちの歩んできた道は確かに存在し、この道にはたくさんの可能性が広がっています。自立し、社会を形作っていく。それは想像しているよりも大変で、たくさんこの困難が待ち受けている



とでしょう。ですが、私たちは一人ではありません。人生の先輩である両親や家族、同じ時を過ごしてきた友人の存在が大きく私たちを支えてくれるでしょう。それと同時に自分も誰かにとって支えとなり、道標たり得る存在になりたいと強く思います。また、お祝いや激励のお言葉を賜りました馬場町長をはじめ、ご来賓の方々、これまでに見守り導いてくださった恩師に、そしてなにより家族に深く感謝申し上げます。最後となりますが、今後は新社会人という自覚を持ち、自分ができる事に対して真摯に取り組み、常に感謝の心を忘れず歩んでいく決意を申し上げます。新成人代表の言葉といいた



●大堀地区●
金谷 美穂さん

本日、無事に成人式を迎えることができ、大変嬉しく思います。これまで支えてきてくれた両親や友人、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ未熟な私ですが、この感謝の気持ちを決して忘れず、大人としての自覚を持ち、将来の夢に向かって日々精進していきたいです。



●刈野地区●
石井 大樹さん

震災から6年が経とうとするこの年、無事に成人式を迎えられることを大変嬉しく思います。そして、これまで私を支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

震災を機に私たちは別々の地で生活をしました。そんな中、私は挫折を経験し、落ち込むことが多くなりました。しかし、その度



●津島地区●
今野 和磨さん

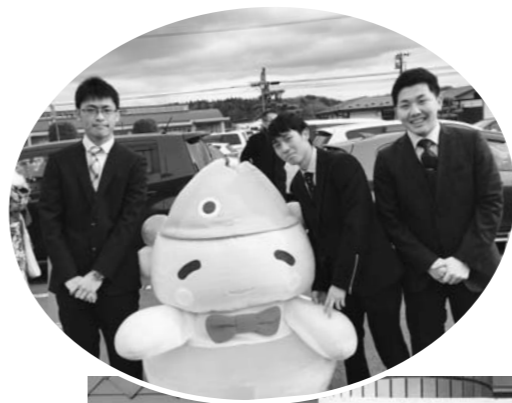
この度、晴れて成人を迎えられたことを、今まで自分を支えてくださったすべての方々に感謝いたします。

社会人としての責任を果たすことはもちろん、柔軟な発想力と行動力を持ち、周りに影響を与えられるような人間を目指して、日々様々なことに精進して参ります。

これから先、人生色々なことがあるかと思いますが、周りの人と協力しながら、楽しく生きていきたいと思えます。

に地元の友人や新しく出会った方々に励まされ、乗り越えることができました。震災を経て、友人の大切さを改めて知ることができ、少しではありますが成長することができました。

まだまだ至らない点の多い私ではありますが、これからも多くを学び次世代を担う社会人としての責任を自覚し、仲間と助け合いながら日々邁進していきます。



町民の皆さんへ

初志貫徹

梅のつぼみがほころぶ季節となり、春の訪れが待ち遠しく感じます。

今年「本格復興期」と位置付けた5年間の初年度にあたり、町は、新たなスタートを切りました。今後は、これまで町再生のために検討を進めてきた各種計画の実現に着手し、ビジョンではなく具現化させ、ひとつひとつ的確に判断しながら事業の完遂に努めます。

目標としている避難指示解除（帰還困難区域を除く）については、先月末から今月上旬にかけて県内外の10か所で住民懇談会を開催しています。国から避難指示解除に向けた考え方等について説明していただいた後、町からは、策定委員会がとりまとめている「浪江町復興計画（第二次）（案）」の概要を説明し、意見交換会で皆さまから浪江町に対する思いや考えを聞かせていただいています。

解除の時期については、国から案が提示されていますが、最終的には、住民懇談会での皆さまの意見のほか、「除染検証委員会」、「有識者検証委員会」による検証結果の報告などを総合して判断したいと考えています。

解除時期に関わらず、4月には、二本松事務所・各出張所に一部機能のみを残し、震災後6年ぶりに役場機能を本庁舎へ戻します。避難指示解除後の町内での生活に必要な町民ニーズを現場で把握するためです。復興している町の姿を皆さんに感じてもらえるよう業務を進めるとともに、十日市や出初式などの

浪江町長 馬場 有

行事を町内で行い、帰町している町民の方だけでなく多くの方が集まれる機会を作っていきたいと考えています。

また、避難先での生活を続ける方については、交流イベントなどの開催を支援したり、仮設等から復興公営住宅等に移り孤立化してしまうことを防ぐため、戸別訪問を強化するなどの対策を講じる必要があるとの認識から、事業について検討していきます。

先日、浪江の若者4名との座談会を行いました。帰る・帰らないはそれぞれでしたが、浪江町への愛着心や町存続への強い思いは共通していて、自ら町の力になりたいという思いを抱いていることがとても嬉しく、これからの私の励みになると感じました。

避難生活が長期化する中で、町民の皆さんには、帰町する・避難先での生活を続ける・帰町への判断を迷っている、などさまざまなご意見があることと思います。町は、それぞれの決断を尊重した支援策に継続して取り組み、町民だけでなく支援いただいている方との絆を大切にしながら、「百年の大計」を示す絵姿を具体的に描いていきます。

その実現が容易ではないことは重々承知ですが、今が試練の時だと腹を据え、職員とともに初志貫徹、強い信念をもってまちづくりに取り組んでまいります。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、くれぐれもご自愛ください。

除染検証委員会から 検証結果報告書が提出され ました

平成28年12月20日に開催した浪江町除染検証委員会において、これまでの検証結果の報告書が委員会より町長へ提出されました。
報告書の内容は町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

問 ふるさと再生課除染対策係
TEL 0240(34)0228



みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。
その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

総理宛てに「避難指示解除に向けた必要施策に関する要望書」を 提出しました

1月12日、町長が経済産業省副大臣室を訪れ、原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）高木陽介氏に、原子力災害対策本部長（内閣総理大臣）宛ての要望書を提出しました。

- 主な内容は、避難指示解除に向けた必要施策として、
- 住民が安心を実感できるまで放射線量を低減させる取組みの継続
 - 町民の生活がいまだに安定しないことを踏まえた生活支援策の継続
 - 町再建の先駆者である帰還町民への最大限の支援
 - 帰還困難区域再生のための国・県の強力なイニシアティブによる施策展開
 - 復興の歩みの中で新たに起こる課題やニーズについて、国・県を含む万全の体制の構築などを求めたものです。

また同日、農林水産省大臣室も訪問し、農林水産大臣山本有二氏に同要望書の内容について説明しました。



原子力災害現地対策本部長



農林水産大臣

町内で営業を開始しました



有限会社 ワタナベ装商

町民の
皆さんへ

浪江町で内装、リフォーム工事を再開いたしましたので、帰町に向かいお手伝いいたします。カーテン掛け替え・クロス貼替え・ジュータン・畳・障子・襖やその他クリーニングなど、さまざまな工事に対応いたします。お気軽にお電話ください。

有限会社 ワタナベ装商 代表取締役 渡部 寛
〒979-1512 浪江町大字北幾世橋字中谷地31
TEL 0240(23)6821
TEL 0244(26)9773 (南相馬事務所)
FAX 0244(26)9774

とうほう・みんなの移動店舗

町民の
皆さんへ

窓口・ATM搭載車「とうほう・みんなの移動店舗」が浪江町内で営業を開始しました。銀行窓口とATMを搭載したトラックで、新規口座開設や定期預金の取引など幅広い金融サービスを利用できます。

浪江町内での営業場所、営業日、営業時間は下記のとおりです。

とうほう・みんなの移動店舗

営業場所：浪江町役場本庁舎 駐車場
営業日：毎週火曜・木曜日
(祝日の場合は休業となります)
営業時間：11時～13時

原発事故による損害賠償でお困りの方へ ADRセンターが無料で和解仲介します

東京電力の提示金額に納得できない方など、どなたでも当センターをご利用頂けます。現在の申立て以外の損害についても、申立て可能です。また、裁判よりも手続が簡便かつ無料※1で、ご本人様一人でも申立てができます。証拠書類がない場合でも申立て可能であり、仲介手続きの中で、センターの調査官が不明な点を丁寧にお伺いします。

手続きが終了している19,265件のうち、8割強である15,968件※2が和解成立に至っています。

※1 送料等の実費は発生します。 ※2 平成28年12月末現在の件数です。

最近の和解事例

申立人が自宅用地として平成21年に購入した居住制限区域（浪江町）の土地の財物損害について、登記上の地目は畑または山林となっているものの、同土地が宅地に囲まれていることなどの事情を考慮して現況宅地と認定した上で、価値減少率を全損と評価し、購入価格を損害額とする賠償が認められた事例（和解事例1010）。

※和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用される基準ではありません。

お問い合わせ先

原子力損害賠償紛争解決センター 無料電話 0120(377)155

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

「避難指示解除に関する有識者検証委員会」 フォローアップ会合から報告書が提出されました

町は、避難指示解除に向けて、除染やインフラ復旧などの進捗を専門家の視点から確認・評価し、必要な措置について提言いただくため、昨年度「避難指示解除に関する有識者検証委員会」を設置し、平成28年3月に報告書が町長に提出されました。

この報告書には、避難指示を解除するために最低限必要な取組みとしてとりまとめた「16の課題」や「避難指示解除後も継続して取り組むべき課題」が挙げられています。

帰還想定時期である平成29年3月を間近に控え、町はこれらの課題について、専門家や町民の視点から進捗状況を確認・評価していただくため、15名（有識者3名、町関係団体代表者の町民など12名）で構成された「避難指示解除に関する有識者検証委員会」フォローアップ会合を設置しました。

フォローアップ会合は3回開催され、平成29年1月5日に報告書が町長に提出されました。

報告書の主な内容は、次のとおりです。



- 1.....
「避難指示解除に関する有識者検証委員会」が避難指示を解除するために最低限必要な取組みとしてとりまとめた「16の課題」に関する取組みは着実に進捗しており、帰還を望む町民が生活を始める準備は概ね整っていると考えられる。
- 2.....
避難指示解除後も継続して取り組むべき課題のうち、町民の生活に密接にかかわる部分について、多くの取組みは既に開始されており、平成29年3月以降、比較的早い時期に一定の成果が上がるものと確認できた。
- 3.....
ただし、帰還の開始は町の復興の第一歩であることを強く意識し、国、県、町が一体となった「新たなまちづくり」を進めるべきである。
特に以下の点については、取組みを拡充・強化すべきである。
 - 除染検証委員会における提言の確実なフォローアップ
 - 除染検証委員会の継続等により、行政と住民のコミュニケーションを緊密にし、問題に即時対応することで住民不安の払拭をはかること
 - 福島第一原子力発電所の廃炉作業が安全に行われるよう、国、東電に強く要請すること。特にダスト飛散が発生しないよう、万全の対策をとるよう要請すること

- 町民に分かりやすい放射能関連の説明を実施すること。特に廃炉作業の状況や、トラブル発生時の対応に関する分かりやすい説明を実施すること
- 大柵ダムの濁度モニタリング継続と、新しいシステムの適正な運用を定期的に確認
- 除染廃棄物の仮置き場を早期に閉鎖できるよう、中間貯蔵施設の早期運用開始を求めていること
- 警察・消防等の体制が整備されているため、治安状況に大きな不安はないが、帰町した住民が安心して生活するため、引き続き十分な治安対策を実施すること
- 効果的な有害鳥獣対策を官民協力のもとに実施
- やむをえない理由で帰町できない方とのつながりを維持できるイベントや気軽に寄れる場所を形成
- 空き家・空き店舗の有効活用を検討
- 早期の教育再開に向け必要な対策の実施
- 商店街の復活
- 再生可能エネルギーを活用したまちづくりの実現
- イノベーションコースト構想の実現に協力し、国内外のさまざまな人材が交流する活気あるまちづくりを実現。人の交流が新しい産業を興す仕組みを実現
- 帰還困難区域の早期再生に向けた取組みの強化
- 震災の経験と教訓を次代に受け継ぐためのコンテンツ収集と発信

町の農業再生に向けて

町産業振興課農林水産係 ☎0240(34)0245

浪江産のお米で 日本酒を造ります



昨年度造った日本酒「希望」
※今年造るものはラベルが異なります

今年度も、浪江町の復興をPRするため、昨年度に引き続き、浪江町で収穫されたお米で日本酒を造ります。
12月28日に、浪江町から避難し山形県長井市で酒造りを営んでいる(株)鈴木酒造店へ酒米を持ち込み、酒造工程を依頼しました。

この酒米は、今年度浪江町酒田地区で収穫されたもので、約20俵の玄米を郡山市にある専門の精米所で磨いたものです。
この酒米からつくられる日本酒は2月中旬頃に完成予定で、町内の仮設商業施設「まち・なみ・まるしえ」や首都圏で行われるイベント等において、復興PRを目的として試供・販売されるほか、ふるさと納税の返礼品にも利用される予定です。

役場に 門松を飾りました



役場に飾られた門松

今年のお正月は、浪江町役場本庁舎の入り口に門松が飾られました。
この門松を作成したのはNPO法人Jinさんです。
避難指示が解除されるであろう今年の浪江町の新しい門出を祝おう、という意味を込めて作られたこの門松は、1月中旬まで飾られ、役場に来訪される方々を華やかに迎えていました。

ここからは広告です。

水素水サーバー い〜水 H₂ 販売及びレンタルを始めました！

カラダに水素、できたての水素水。
安全 安心 健康

「い〜水 H₂」とは

「い〜水 H₂」は、一般の水道水やガロンボトルの水から水素を豊富に含む水を生成する画期的なサーバーです。本サーバーは水を純水にまでろ過した上で、溶存水素濃度の高い中性の水素水を作ることができるので、口あたりの良いまろやかな水素水をお楽しみいただけます。



誠意と技術で奉仕する
東北工業建設株式会社

詳細は当社ホームページをご覧ください！

東北工業建設株式会社 検索

お問い合わせは 環境衛生事業部まで
TEL.024-573-4127

町復興推進課復興企画係 ☎0243(62)4731

介護保険と確定申告について

確定申告において、①社会保険料控除として介護保険料、②医療費控除として介護サービスの利用料、寝たきりの方のおむつ代、③障害者控除として所得税法上の障がい者と同等と認定された要介護認定者の方がいる場合などについては、所得税控除の対象となります。

①社会保険料控除

平成28年1月から12月の浪江町介護保険料は減免になっているため、浪江町に住所を有する65歳以上の方で該当する方はいません。

②医療費控除

●介護保険サービス（居宅サービスや施設サービス）利用料等のうち、医療費控除の対象となるものは、「医療費控除対象額」と領収書に記載されているものです。

●おむつ代の取扱い
寝たきりの状態で、治療上おむつの使用が必要な人については、おむつ代が医療費控除の対象となります。

▶対象者

おおむね6か月以上寝たきりの状態にあると認められ、治療上おむつの使用が必要な方

▶必要書類

《初めて控除を受ける方》

- 領収書
- 医師が発行する「おむつ使用証明書」
※証明書様式は介護係にあります。

《2年目以降の方》

- 領収書
- 「おむつ使用証明書」に代えて、町が発行する「おむつ代医療費控除証明書」でも可
※申請が必要です。

③障害者控除

65歳以上で、介護保険の要介護認定を受けている方は、障害者控除を受けられる場合があります。

▶対象者

65歳以上の浪江町介護保険被保険者で、要介護1から要介護5の認定を受けている方のうち、要件に該当する方。（要件とは要介護認定に際し、町が収集した主治医意見書の日常生活自立度によります）

▶基準日

所得控除対象年の12月31日（被保険者が年の途中で死亡した場合は、当該死亡の日）

▶手続き方法

《浪江町役場町民税務課で申告する場合》

手続きは不要です。

《上記以外の場合》

- 「障害者控除対象者認定書」の申請手続きが必要です。
- 申請書が必要な方は介護係にご連絡ください（ダウンロード可）。
- 「障害者控除対象者認定書」は申請書を審査し発行します。
- 手続きは余裕をもって行うようお願いします。

☎介護福祉課介護係 ☎0243(62)0172

所得税確定申告の相談 住民税申告

所得税確定申告および住民税申告の相談を実施します。期間は下記のとおりですので、3月15日(水)までに申告するようにしてください（役場では申告期間外の所得税確定申告の相談はお受けできませんので、十分ご注意ください）。

☎町民税務課課税係
☎0243(62)4735

浪江町の申告相談スケジュール

月 日	受付時間	受付会場
2月16日(木)	9時～15時	二本松事務所
2月17日(金)		
2月18日(土)	申告休み	
2月19日(日)	9時～15時	二本松事務所
2月20日(月)		
2月21日(火)		
2月22日(水)		
2月23日(木)		
2月24日(金)	申告休み	
2月25日(土)	申告休み	
2月26日(日)	9時～15時	二本松事務所
2月27日(月)		
2月28日(火)		
3月1日(水)		
3月2日(木)		
3月3日(金)		
3月4日(土)		
3月5日(日)	申告休み	
3月6日(月)	9時～15時	二本松事務所
3月7日(火)		
3月8日(水)		
3月9日(木)		
3月10日(金)		
3月11日(土)	申告休み	
3月12日(日)	申告休み	
3月13日(月)	9時～15時	二本松事務所
3月14日(火)		
3月15日(水)		

福島県内の税務署の確定申告相談会場

土・日・祝日は除きます。ただし、2月19日(日)および2月26日(日)は、ウィル福島アクティおろしまち（福島税務署開設）でのみ相談会場を開設します。また、受付時間は各会場で異なりますので、詳細は避難先最寄りの税務署にお問い合わせください。開設期間以外の申告相談については、各税務署で行います。

県外の税務署につきましては、該当の県外の税務署にお問い合わせください。

税務署	確定申告相談会場	開設期間	電話番号
福島税務署	ウィル福島 アクティおろしまち (福島市鎌田字卸町10-1)	2月16日から 3月15日まで	024(534)3121
会津若松税務署	アピオスペース (会津若松市インター西90)	2月13日から 3月15日まで	0242(27)4311
郡山税務署	南東北総合卸センター協同組合イベントホール (郡山市喜久田町卸1-1-1)	2月13日から 3月15日まで	024(932)2041
いわき税務署	イオンいわき店 2階 (いわき市平字三倉68-1)	2月8日から 3月15日まで	0246(23)2141
白河税務署	白河市産業プラザ人材育成センター 2階講堂 (白河市中田140)	2月16日から 3月15日まで	0248(22)7111
須賀川税務署	須賀川市産業会館 2階 (須賀川市花岡34-2)	2月16日から 3月15日まで	0248(75)2194
喜多方税務署	喜多方税務署内 (喜多方市字花園38)	2月16日から 3月15日まで	0241(24)5050
相馬税務署	相馬市振興ビル 6階 (相馬市中村字塚ノ町65-16)	2月8日から 3月15日まで	0244(36)3111
二本松税務署	二本松市市民交流センター (二本松市本町2-3-1) ※駐車場有料	2月16日から 3月15日まで	0243(22)1192
田島税務署	田島税務署内 (南会津郡南会津町田島字寺前甲2939-2)	2月16日から 3月15日まで	0241(62)1230

ご持参いただく書類等

右の各欄に該当する書類、印鑑(認印可、シャチハタ不可)を忘れずにお持ちください。また、申告により所得税の還付が発生する場合がありますので、ご本人の口座番号がわかるもの(通帳、キャッシュカード等)もお持ちください。

なお、前年申告をした方は、確定申告書の控えまたは町県民税申告書の控え、東京電力の賠償金を複数年に分けて申告している方は、賠償金が分かる明細書を、最終年分の申告が終わるまで、毎年ご持参ください。

※会社等で年末調整している方で、その収入と所得控除に変更がない方は確定申告をする必要はありません。

※右記以外の内容の申告をする場合には、必要な書類が異なりますので、事前に、最寄りの税務署または浪江町役場町民税務課にお問い合わせください。

所得税確定申告の相談は、全国の税務署が開設する申告会場および浪江町役場二本松事務所にて行うことができます。遠方地に避難されている方は、避難先最寄りの税務署での相談をご検討ください。
町では、二本松事務所でのみ申告の相談・受付を行います。消費税・贈与税・相続税・青色の所得税確定申告は、町では受付ができませんので、税務署にお問い合わせください。

	項目等	必要書類	
所得税	給与 雑・公的年金等	源泉徴収票(原本)	
	事業・営業等 事業・農業 不動産 配当	白色申告者 …収支の内訳(各合計)がわかるもの 種類に応じた支払通知書	
	賠償金等	給与(就労不能損害) 事業・営業等 事業・農業 不動産	
	控除等	生命保険料控除 地震保険料控除	東京電力による各賠償額の内訳と合意日等が分かる明細書 会社等が発行する確定申告用の証明書(原本)

高齢者 肺炎球菌ワクチン接種

平成28年度に無料で接種できるのは以下の方です。
接種期間は平成29年3月31日までです。
期間を過ぎると費用が自己負担となりますので
ご注意ください。

(1) 年度内に以下の年齢になる方

対象者	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日
85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日
95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日
100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日

(2) 60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級に相当する程度の障がい）

※(1)(2)とも、すでに高齢者肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、無料接種の対象外となります。
※過去5年以内にこのワクチンを接種したことのある人は、再接種により注射部位の痛み、赤み、しこりなどの副反応の頻度が高く、程度が強くなる場合があります。

▶接種方法

【県内に避難されている方】
直接医療機関に予約し、窓口負担なしで接種できます。浪江町の予診票を使用してください。

【県外に避難されている方】
避難先の市区町村にお問い合わせください。
市区町村によっては、無料で接種できない場合があります。一度実費をお支払いいただきますが、浪江町で費用を負担しますので、ご連絡ください。

予防接種 忘れていませんか

対象年齢を過ぎると費用が自己負担となりますので、ご注意ください。

【麻しん・風しん】

区分	対象年齢	接種期間
1期	1歳以上2歳未満	1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで
2期	幼稚園年長児に相当する年齢	平成29年3月31日まで

【二種混合（破傷風・ジフテリア）】

▶対象年齢 11歳以上13歳未満の方
◇予防接種をするときは、母子健康手帳を必ずお持ちください。
◇県外に避難している方は、避難先の市区町村にお問い合わせください。
◇不明な点はお問い合わせください。

ゆったり子育てアドバイス



毎日とても寒く、体調を崩しやすい時期が続いていますね。
今回は、冬の子育てポイント「咳のケア」についてご紹介します。

*なぜ子どもはこんなに咳をするの？

- 咳は肺を守るために異物を外へ追い出そうとする身体の防御反応です。
- 咳を出すための肺機能は、出産直前から機能し始めるので、他の臓器に比べて少し遅めに成長します。

*咳が出ている時のケア

- ①姿勢の工夫……「前かがみ」や「縦抱っこ」は余分な身体の緊張が取れ、重力で横隔膜も下がって肺が膨らみやすくなります。
- ②水分摂取……水分をとると、のどが潤い乾燥による粘膜への刺激を抑え、のどについた異物を胃へ流すことができます。
- ③体温調節……身体が冷えると血管が収縮され、咳が誘発されやすくなります。本人の気持ちいい程度で体温調節をしてあげましょう。



咳が出始めたときは、いつもより丁寧に過ごしてあげてくださいね。

子育てに関する悩みは、教育委員会事務局子育て支援係へ ☎0243(62)0170

広げよう
ママ友の輪

今月の
かもめっ子クラブ

- ◆いわき市 2月6日(月) 10時～ 中央台公民館
- ◆郡山市 2月17日(金) 10時～ 郡山市音楽文化交流館 ミューカルがくと館
- ◆南相馬市 2月23日(木) 10時～ 高平生涯学習センター

健診結果の見方 ～ここに気を付けよう～



広報なみえ1月号でもお知らせしましたが、浪江町では震災の前後で体重の増加、高血圧、脂質異常の方の割合が増加しています。

こうした状況を改善するため、今年度は健診の結果を返却会でお返しし、医師や保健師等から個別に健診結果の見

検査項目	基準値	単位	注	
身体計測	身長	cm	身長と体重のバランスを表す指標です。値が25以上になると肥満ぎみとなります。	
	体重	kg		
	BMI(体格指数)	18.5～24.9		
	腹囲	89.9以下	cm	心臓が血液を送り出す際、血管に加わる圧力のことです。心臓が縮むと血管にかかる力が最も強くなり収縮期(最高)血圧となります。逆に心臓がひろがり、力がゆるんだ時が拡張期(最低)血圧です。収縮期・拡張期のどちらが高くても高血圧です。
内臓脂肪	メタボリック症候群			
血圧	収縮期(最高)血圧	129以下	mmHg	腎臓の機能が低下すると高くなります。
	拡張期(最低)血圧	84以下	mmHg	
腎臓・尿路	クレアチニン	0.35～0.94	mg/dL	腎臓の働きを調べる数値で、値が低いほど腎臓の働きが悪いということになります。慢性腎臓病(CKD)の指標となります。CKDが進行して腎不全になると体内から老廃物を除去できなくなり、最終的には人工透析や腎移植が必要になります。
	eGFR	60.0以上	単位	
	尿蛋白	(-)		
	尿潜血	(-)		
糖	尿糖	(-)		糖尿病の診断に必要な検査です。値が高い場合は糖尿病が疑われます。HbA1cは、過去1～2か月間の平均的な血糖の状態がわかります。糖尿病は、腎臓や目の網膜、末梢神経に障害を与えたり、心筋梗塞や脳梗塞の危険性を高めます。
	血糖(空腹時)	99以下	mg/dL	
	血糖(随時)	199以下	mg/dL	
	HbA1c(JDS)	5.1以下	%	
	HbA1c(NGSP)	5.5以下	%	LDLコレステロールは、悪玉コレステロールと呼ばれ、多くなりすぎると動脈硬化を引き起こす可能性があります。HDLコレステロールは、善玉コレステロールと呼ばれ、血管にたまった余分なLDL(悪玉)コレステロールを取り去って肝臓に運び、動脈硬化を防ぐ働きがあります。
脂質	HDLコレステロール	40以上	mg/dL	
	LDLコレステロール	119以下	mg/dL	
	中性脂肪	149以下	mg/dL	
痛風	尿酸	7.0以下	mg/dL	
肝臓	AST(GOT)	30以下	U/L	
	ALT(GPT)	30以下	U/L	
	γ-GT	50以下	U/L	
血液一般	赤血球数	3.70～5.49	×10 ⁴ /μL	
	血色素量	12.1～15.9	g/dL	

基準値内であっても油断は禁物です。各項目の数値が前年(過去)の数値からどのように推移しているかをチェックして自分の身体の変化を確認しましょう。悪くなっている場合は要注意です。生活習慣の改善でさらに悪くなるのを防ぎましょう。
また、かかりつけ医がいる場合は、健診結果を報告しましょう。



☎健康保険課健康係 ☎0243(62)0168

方や内容について説明しました。返却会に来られなかった方もぜひご自分の結果をもう一度チェックしてみてください。

児童作文・読書感想文 コンクール

入賞作品を紹介します

問 浪江小学校 TEL024(567)3970
問 津島小学校 TEL024(567)6860



左から 瀬尾瑠衣菜さん(6年)、瀬尾悠月さん(3年)、今野笑瑠捺さん(5年)

双葉地区 児童作文コンクール

●特選 瀬尾瑠衣菜さん(6年)

双葉郡 読書感想文コンクール

●特選 瀬尾 悠月さん(3年)
●準特選 今野笑瑠捺さん(5年)

児童作文 特選

私の夢

六年 瀬尾瑠衣菜

私の夢は幼稚園の先生になることです。この夢は、私が一年生の時からずっと変わっていません。私は小さい子どもが好きで、妹が幼稚園のころから折り紙の折り方を教えたり、勉強を教えたりしていました。

頑張ることが、避難している他の子どもたちや他の県の人たちに「福島は大丈夫ですよ。」というメッセージを伝えることになるのだと思います。

のだと思いました。そう思うと、益々、絶対にかねるぞという強い気持ちがわいてきました。私の夢は、なりたいたいと思うだけではかなわないと思っています。そこで私は、幼稚園の先生をめざしていくつかのことに取り組んでいます。一つは、五年生から毎日続けている自主学習です。先生になるためには、今まで以上に進んで学習し、全部の教科をレベルアップしなくてはならないと思っています。初めは何をどう取り組んでいいかわからずいましたが、先生からアドバイスをいただながら毎日続けてい

す。私が通っていた「アスナロ幼稚園」から葉書が届きました。幼稚園の園舎は、東日本大震災で建物がこわれてしまい、お化け屋敷みたいになってしまったと書いてありました。そして、このままでは危険なので取りこわすことが決まったとも書いてあったのです。私は、信じられない気持ちでした。東日本大震災の年まで毎日、先生や友達と一緒に過ごした幼稚園です。今でも忘れられない楽しかった思い出がたくさんあるのです。安全のために取りこわすのは仕方がないと分かっているのですが、とてもさびしい気持ちになりました。でも、このことがきっかけで浪江町の幼稚園の先生になりたいという思いがとても強くなったのです。

かもしれないと改めて思いました。そして、それまでは、ばく然と「幼稚園の先生になる」ままだった夢が「福島県で」「浪江町で」というように具体的になっていったのです。アスナロ幼稚園が一日でも早く始められるように私にできることがあれば応援していきたいと思っています。

くと、今、自分に必要な学習が分かってくるようになりました。また、工夫してやるのもおもしろくなりました。

二つ目は、水泳やスキーへのチャレンジです。本当は、あまり得意ではないのですが、水泳やスキーができるようになることも大切だと思っています。今年は、ビート板を使わずに泳げるようになりまし。去年のスキー学習では、一番高いところから下りてくることもできました。

三つ目は、友達の良いところや頑張りを見つける「心の花」を毎日書くことです。誰かのよいところや頑張っていることを見つけて、自分でも楽しいし、自分までうれしくなります。そして、みんなのよいところを見つけて、ことも幼稚園の先生にとって大切なことだと思っています。

私は、時々、幼稚園の先生になった自分を想像することがあります。子どもたちと一緒に歌ったり砂遊びをしたりする私は、ひまわりのように笑っています。夢は自分でかなえるものだから、私は、これからも自分の夢に向かって頑張ります。

読書感想文
特選

「きょうから飛べるよ」
を読んで

三年 瀬尾 悠月

この本の題名を見た時、わたしは、「だれが飛ぶのだろう。表紙には女の子が紙ひこうきを見上げている絵がかいてあるけどー。」と思い、その答えを見つけたくなって読みはじめました。

この表紙の女の子は、さくらさん。もうすぐ四年生になるという春休みに、高ねつを出して入院してしまったのです。わたしも入院したことがあるので、さくらさんの気もちが少し分かります。注しや点てきはいたいのに、がんばってもよくならないとえ顔になんてなれない。いくら食べないと元気が出ないと言われても、どうせ……と

思ってしまったすよね。でも、花さかじいさんからの手紙で、「さあ、行動をおこせ。じっこうあるのみだ。」というのを読んだら、さくらさんは、歩き出しました。力強いこの言葉にせ中をおされる感じで、花さかじいさんは、きつと向かいの病室からさくらさんを見て、ずつとおうえんしていたんだと思います。おじいさんの手紙に書いてあった木を見つけたら、そこには小鳥のすがありましたね。さくらさんが名前をつけた「クロジとジュンコ」のす。そして四つの小さなたまご。たまごからひなになって、どんどん大きくなるのをわたしもさくらさんといっしょにわくわくしながら読みました。

きつとさくらさんもそのわくわくを伝えたくて、おじいさんにたくさんのお手紙を書いたんですよね。手紙の交流で、二人の心が強くつながっていくのを感じていました。でも本当は、だれかに話したかったのではないのでしょうか。

「地震のはなしを
聞きに行く」を読んで

五年 今野笑瑠捺

私がこの本を選んだ理由は、作者である須藤さんと同じ東日本大震災を経験したからです。私の家族は無事でしたが、大切な家族を亡くしてしまった人の気持ちを知りたいと思いました。

須藤さんは、宮城県気仙沼市で船の整備をしていたお父さんを、津波で亡くしました。遺体が見つかったのは、地震から十五日後でした。その日から全て忘れたふりをして、笑って過ごしていたそうです。きつとお父さんが大好きだったから、忘れなかったのだと思います。わざと明るく過ごすのは、毎日の暮らしを続けるのに楽だったと書

一度は震災のことを忘れようとした須藤さんでしたが、お父さんがなぜ死んでしまうことになったのか、地震と津波のことを知りたいという気もちに変わっていききました。悲しい現実に向き合えば、またつらい気持ちになるかもしれません。でも須藤さんは前を向き、地震や津波について調べ、この本を書くことで、私たちにたくさんのお話を教えてくれました。

日本には、地震の被害が少なくなるように研究が続いている人がたくさんいるそうです。地震には、プレート（動く板）の動きによるものと活断層の動きによるものがあり、日本中どこでも地震は起こりうるそうです。地震学者の松澤さんは、「地震についての研究成果を知ってもらえるよ

じました。

さくらさんのかんさつを通して、わたしは親鳥はすごいなあと思いました。毎日子どものためにえさを運んだり、雨がふると羽を広げて子どもたちを守ったり。さくらさんが、鳥も人間も家族を思う気もちと同じだねって言ったのが、分かる気がしました。わたしも家族に守ってもらっているなあと思っています。また、一番心にとっっている場面は、ひなたたちがすからとび立つ日のことです。親鳥たちが近くの木の上で鳴くのを見て、さくらさんには、「きょうから飛べるよ。さあ、みんな出ておいで。だいじょうぶ。きょうから飛べるよ。」と言っているように聞こえたんですね。そしてそのしゅん間、ひなたたちは飛び立っていききました。きつと、こわくても勇気を出して飛び出したのだと思います。

この日、花さかじいさんは、天国へ旅立ちました。さくらさんは元気になってたい院し、いっぱいがんばってバレーリナーになったけど、つらい時はいつもおじいさんの声が聞こえたそうです。「きょうから飛べる。明日も飛べる。だいじょうぶだ。心配するな。」と。まるで親鳥のよう。に。「きょうから飛べる。」は、さくらさんの心の声だったんですね。わたしは、この言葉がとてもすきになりました。

わたしは、家の都合で、四年生になる時に転校しなくてはなりません。そのことで、このころ少し心配になることがあります。でも、この言葉が、わたしを強くしてくれる感じがします。わたしも飛べるかな。だいじょうぶだよ。勇気を出してがんばりたいです。

う努力してきたが、まだまだ足りない。もつと伝えていかなければ。」と言っています。私たちが知る努力が必要です。それは日本が、元々地震によつて今の形になっていて、地震がとても多い国だからです。私たちが、自分たちの住む地域の地震の歴史を知ること、様々な準備ができるはずですよ。

もう一つ大切なことは防災と減災です。専門家の河田さんは「防災・減災は文化」と説明していました。例えば玄関でくつをそろえる事だけでも、逃げる時に役立つそうです。これはすぐに始められる事です。東日本大震災で岩手県釜石市の小中学生が全員逃げ切れたことは、奇跡ではなく防災教育があったからだと聞いています。とても心にひびきました。

最後に須藤さんは、大切な人を失うことのないように、一人一人が自分の事としてこの震災を考えてほしいそうです。この本を読んだ人にその想いが伝わり、地震に関心を持つ人や、防災や減災を真剣に考える人が増えてほしいと思います。

地震の時の避難場所や持ち物を家族と話し合うこと、家族のスケジュールを毎日聞いておくこと、地域の人も絆を深めて協力できるようにしておくこと、この本を読み終えて、私がいよいよと思っていることです。あの日の記憶と戦いながらも、必死で私たちに伝えようとした須藤さんのメッセージをしっかりと心に受け止め、私もできることをして自分と大切な人たちの命を守っていききたいです。

消防団幹部研修を実施しました

浪江町消防団の幹部研修を11月26・27日に実施し、仙台市水道局および陸前高田市を訪問してきました。

26日に訪問した仙台市水道局では、東日本大震災での被害状況や水道局の災害対策について話を聞くとともに、非常用飲料貯水槽や災害時給水栓など、災害時に飲料水を確保する施設を見学しました。翌27日には、復興作業が進んでいる陸前高田市を訪問し、語り部ガイドから説明を聞きながら市内の震災遺構を巡るとともに、旧中心市街地が11メートルの盛り土でかさ上げされている様子なども視察してきました。また、東日本大震災時に消防団部長だった方から当時の状況を伺うこともできました。

今後、町内の防災に役立てていくため、意義深い研修となりました。



陸前高田市の旧・気仙中学校 (震災遺構)



災害時給水栓の使用方法について説明を受ける

防犯・防火・救急教室を開催しました

12月21日に浪江町地域スポーツセンターで、準備宿泊者の方を対象に防犯・防火・救急教室を開催しました。

双葉警察署浪江分庁舎と浪江消防署の職員の方より身近な防犯・防火対策、救急処置などを説明いただくとともに、参加した方々の交流を深める場となりました。



ありがとうございました ございました

みなさまから役場二本松事務所へ義援金をお届けいただきました。



12月19日
東日本高速道路株式会社いわき管理事務所様
株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部様

よろしくお願ひします

1月1日付けで、今野秀則さん(津島)が教育長職務代理者に再任されました。
よろしくお願ひします。



大聖寺「除夜の鐘」

大晦日の正午から、北幾世橋の大聖寺で除夜の鐘つきが行われました。夜間の立ち入りが制限されているため、今回は白昼の行事となりましたが、集まった檀家の皆さんは住職とともに過ぎゆく年をふり返り、新たな年への思いを込めながら百八回の鐘をならしました。町内には厳かな鐘の音が響き渡りました。



叙勲受章の報告に来られました

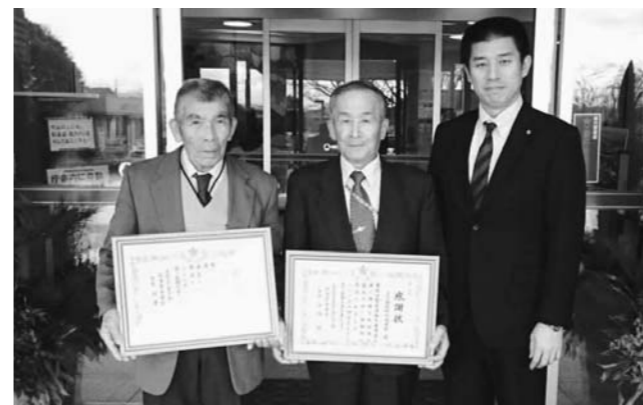
叙勲を受章された陶富治さんが12月13日、受章報告のため役場二本松事務所を訪れました。

陶さんは多年にわたり保護司として更生保護事業に尽力され、その功績により「藍綬褒章」を受章されました。



双葉警察署長より感謝状を授与されました

12月28日、双葉警察署臨時庁舎において署長感謝状贈呈式が行われ、浪江地区暴力団排除推進協議会、浪江町防犯見守り隊、浪江地区防犯指導隊、浪江地区交通安全協会、浪江地区安全運転管理者協会、ほか数名の方が感謝状を授与されました。



防犯見守り隊 高橋政雄さん(左側)、
防犯指導隊 君島勝見さん(中央)

がんばれ!
なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぼう変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731



2月の休館日

6日(月) 11日(祝・土) 13日(月) 19日(日)
20日(月) 27日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう

(仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024(573)4295

E namielib@gmail.com

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで ◆利用時間 9時~17時
※お気軽にご利用ください。



みんなの図書館

読んでみませんか



「小説 君の名は。」

新海 誠/著 KADOKAWA2016

山深い田舎町で暮らす女子高校生と東京で暮らす男子高校生が夢の中で入れ替わっていることに気づくが、それにはある理由が隠されていた...

ドキドキ、ハラハラの展開でラストまで一気に読んでしまいたくなる、映画の原作本です。



「被災地から考える3.11とテレビ」サンパウロ2016

「3.11からメディアを考えるプロジェクト」に参加した東北大学院生の調査・分析を中心とした論文。

第2章 浪江町の事例 佐々木加奈子

震災報道が少なくなる中、復興へ前進する美談化されたストーリーや、「帰還」が進むべき復興への道しるべとして紹介されるなど、避難者たちの気持ちや現状が正しく報道されないという苛立ち、「自分たちが忘れ去られている」という実感などを2年間の聞き取り調査をもとに分析。

3.11以前の浪江町の記憶を保存、継承する 明日への架橋のために！等



「夜のピクニック」

恩田 陸/著

新潮社2006

それは、全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。

甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて臨んでいた。

忘れかけていた青春小説です。

浪江町議会議員一般選挙 投票日 4月23日(日)

■立候補予定者説明会

3月4日(土) 10時

浪江町役場二本松事務所 2階大会議室

■立候補届出受付

4月13日(木) 8時30分~17時

浪江町役場二本松事務所 2階大会議室

※投票所、投票時間等については、決まり次第広報誌等でお知らせします。

■郵便等による不在者投票

次の方は、郵便等による不在者投票ができる制度があります。また、特定の方については、代理記載をすることができます。

この制度を利用する場合は、「郵便等投票証明書」が必要となります。発行までに多少の時間がかかりますので、申し込み・問い合わせは早めをお願いします。

また、郵便等投票証明書には有効期限がありますので、すでに交付を受けている方で有効期限が切れている方は、早めに更新してください。

- 身体障害者手帳、または戦傷病者手帳をお持ちの方で、障がいの程度が所定の条件に該当する方
- 介護保険で「要介護5」と認定されている方

申・問 浪江町選挙管理委員会 (総務課行政係内) TEL 0243(62)0128

がんばれ! なみえ まちの話題

毎月第2土曜・日曜日は「まるしえの日」!

まち・なみ・まるしえで イベントを開催しました



1月14・15日の2日間、浪江町内の仮設商店街「まち・なみ・まるしえ」にて、イベント「まるしえの日」を開催し、約300人の来場がありました。

初日は、施設管理協議会の阿久津会長が「町の復興に向け、まち・なみ・まるしえから盛り上げて行きましょう」とあいさつ。続いて川添芸能保存会による「新春神楽」が披露され、来場者も参加した乱獅子神楽では、「浪江復興大復興、商売繁盛大繁盛、交通安全大安全」と、威勢のいい掛け声が会場に響きました。

午後に行われた“坂本冬休み”さんによる「ものまねステージ」では、坂本冬美さんや由紀さおりさんなど多彩な歌唱ものまね、松野明美さんなどのしゃべりものまねで、会場は大きな笑いに包まれました。

2日間とも、浪江産のもち米を使用した餅つきが行われ、つくたてのお餅がお雑煮で振る舞われたほか、福岡県田川市の田川ホルモン喰楽歩(くらぶ)による「田川ホルモン鍋」の販売もあり、この冬一番の寒さの中、来場者の皆さんは笑顔で舌鼓を打っていました。

まち・なみ・まるしえの各店舗も、多くの来店者で賑わった2日間となりました。

「まるしえの日」は、毎月第2土曜・日曜日の11時から14時まで開催しています。(イベントの内容はその月々に異なります。)

東京電力からのお知らせ

東京電力による家屋の清掃(片付け)を行っています

東京電力は浪江町内(居住制限区域および避難指示解除準備区域)の住宅の清掃(片付け)を行っていますので、下記受付ダイヤル(※1)までお申込みください。

作業内容は不要となった家財道具等の屋外(敷地内)への搬出および掃き掃除ですが、薬品や危険物といった業者が回収できないものは対象外となります。

また、屋内に入っている作業ですので、立会いを必ずお願いします。

なお、解体が決まっている住宅では作業を行いませんが、必要な物を搬出したい等のご相談はお受けしていますので、下記受付ダイヤル(※1)までお問い合わせください。

また、片付けにより発生した廃棄物は回収業者(※2)により後日回収されますが、東京電力の片付けによらないご自宅の不要品の戸別回収も行っていますので、下記コールセンター(※2)までお申し込みください。

お申込みはこちらへ

(※1) 東京電力株式会社
家屋清掃(片付け)受付ダイヤル

TEL 080(5527)3959

受付時間：平日 9時～12時、13時～16時
受付期間：平成29年2月28日まで

お申込みはこちらへ

(※2) 双葉運輸株式会社
回収コールセンター

TEL 0120(46)5175

受付時間：平日 8時30分～17時
受付期間：平成29年3月10日まで

(※1)(※2)の受付期間以降については、方針が決定次第お知らせします。

福島県からのお知らせ

帰還に向けた放射線不安相談(ごみ・廃棄物ほか)のご案内

福島県は、避難地域12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)への帰還をお考えの住民の方や事業者の方などを対象に、帰還に際して身の回りのもの(ごみ、廃棄物、その他)への放射線不安に対する相談を受け付けています。ご相談内容に応じて現地での放射線測定等の調査や関係機関のご紹介等を行います。

こんな不安はありませんか？

- ◆長期避難で家の外に放置されていたものが放射能に汚染されていないか心配。
- ◆帰還に向けた家の修繕やリフォームから出た廃棄物などの放射線量がどのくらいか知りたい。
- ◆汚染の心配があるものを処分したいが、どうすればよいか知りたい。

など

ご相談はこちらへ

帰還に向けた放射線不安相談窓口
(浪江町役場本庁舎内)

TEL 080(2845)3905

E info2@fukushima-sanpai.jp

受付時間：月～金曜日 8時30分～17時15分
(土・日・祝日を除く)

環境省からのお知らせ

被災家屋等の解体の申込み・お問い合わせについて

国による家屋等の解体の受付を行っています。

解体する物件によって、申請に必要な書類の準備に時間がかかる場合がありますので、解体を希望する方は、受付センター(※1、※3)、または相談窓口(※2)までご連絡ください。

震災直前に住居として利用していた家屋(店舗兼住宅も含まれます)の解体を申し込む場合は、半壊以上の「り災証明」が必要になります。それ以外の付属屋(物置、倉庫、ブロック塀、空家など)のみで解体申請をする場合には、り災証明は不要です。

申請が込み合う時期となりますので、早めのお申込み、またはご相談をお願いします。

お申込み・ご相談はこちらへ

被災家屋などの解体受付に関する申込み・相談窓口
(株式会社高島テクノロジーセンター)

(※1) 家屋の解体申請受付センター 場 所：浪江町役場二本松事務所隣
(二本松市北トロミ573)
TEL 0120(603)016 受付時間：8時30分～16時30分(土・日・祝日を除く)

(※2) 除染および災害廃棄物に関する相談窓口 場 所：浪江町役場本庁舎内 ふるさと再生課内
(浪江町幾世橋字六反田7-2)
TEL 0120(505)043 受付時間：9時～17時(土・日・祝日を除く)

(※3) 被災建物解体受付センター 場 所：福島県南相馬市原町区錦町1丁目132-1
レスディビル2階東
TEL 0120(664)123 受付時間：9時～17時(土・日・祝日を除く)

いつか役に立つ

法律
知識
No.2



弁護士 大橋 征平
総務課 主幹
(所属：福島県弁護士会)

相続について①

相続は、残念なことに紛争になることも多いです。法律の定めを知っていると、話し合いも円滑に進みますので、争いを避けるためにも民法の定めを知っておきましょう。ちなみに、民法は、亡くなった方を「被相続人」、財産を受け継ぐ人を「相続人」という言葉で表しています。

相続人

民法は相続人について順位をつけて定めています。先の順位の人が存在しない場合、次の順位の人が相続人となります。(同順位の人が複数いる場合、民法が遺産をどのように分けるよう定めているかについては、次回以降に説明します。)

◆第1順位

相続人となる第1順位の者は子です。既に子が亡くなっても孫がいる場合には、孫が相続人となります。その下も同様で、子も孫も既に亡くなっても曾孫がいる場合、曾孫が相続人となります。

◆第2順位

相続人となる第2順位の者は父母です。亡くなった方に子等がない場合、亡くなった方の父母が相続人となります。父母が既に亡くなっても祖父父母が健在な場合は、祖父父母が相続人となります。その上も同様で、父母も祖父父母も既に亡くなっても曾祖父父母がいる場合には、曾祖父父母が相続人となります。

◆第3順位

相続人となる第3順位の者は、兄弟姉妹です。亡くなった方に子も父母等もない場合には、亡くなった方の兄弟姉妹が相続人となります。兄弟姉妹が既に亡くなっても兄弟姉妹の子がいる場合、兄弟姉妹の子が相続人となります。ただこれ以上については第1順位や第2順位と異なるところで、兄弟姉妹も兄弟姉妹の子も既に亡くなっている場合、兄弟姉妹の子は相続人にはなりません。

前記の3者以外に配偶者も相続人となります。詳しくは、次回以降に説明します。

問合せ
申込み
電話
ファクス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

「浪江町空き家・空き地バンク」 【売却希望物件募集】 を開始します

平成28年11月から賃貸希望物件の募集を行っている「浪江町空き家・空き地バンク」は、2月1日より売却希望物件の募集を開始します。町内の住宅または土地を売却したい方は「浪江町空き家・空き地バンク」への登録をご検討ください。

登録対象物件は、住宅（現況で居住可能で適切な管理状況にあるもの）および土地（戸建住宅建築に適した面積および条件を備えたもの）で、適切な管理状況にあるものとなります。バンクへの登録を希望する方は、登録申

「浪江町」 住宅改修相談窓口 を設置しています

町は、避難指示解除後に浪江町内自宅での生活再開を検討している方への支援事業として、「浪江町住宅改修相談窓口」を設置しています。

事業の内容は、自宅等の改修・修繕方法の相談、業者手配の相談、各種支援制度の紹介等です。

込書を入手(町ホームページからダウンロードまたは浪江町役場まちづくり整備課管理係に請求)の上、必要事項を記入して浪江町役場まちづくり整備課管理係までお申込みください。

問 まちづくり整備課管理係
0244(34)0243

毎月第2土曜・日曜日 開催！ 「まるしえの日」へ お越しください

浪江町仮設商業施設「まち・なみ・まるしえ」では、毎月第2土曜・日曜日にイベントを開催しています。

2月の開催日は11日(土)、12日(日)です。両日ともステージイベントがあります。

- 11日 11時30分～、13時～ 「和太鼓演奏」
- 12日 11時30分～、13時～ 「歌謡ステージ」

Shimva(福島市出身)、門馬よし彦(浪江町出身) 両日とも(一社)久慈市観光物産協会による岩手県久慈市の郷土料理「久慈まめぶ汁」の販売や、来場者への記念品プレゼントがあります。駐車場は役場敷地内駐車場をご利用ください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

3月は11日(土)、12日(日)に開催の予定です。

問 産業振興課商工労働係
0244(34)0247

+ 仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL0243(24)1431

■診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

2月
1日(水) 関根・村松(午後(内科)・西・福島医大(午前(整形外科))
2日(木) 関根・今村(婦人科)・木村(皮膚科)
3日(金) 関根(午前)・佐川(午後)・玉井
6日(月) 関根(午前)・佐川(午後)・JCHO(内科)
7日(火) 関根
8日(水) 関根・村松(午後(内科)・西・福島医大(午前(整形外科))
9日(木) 関根・今村(婦人科)
10日(金) 関根(午前)・佐川(午後)・玉井
13日(月) 関根(午前)・佐川(午後)・JCHO(内科)
14日(火) 関根
15日(水) 関根・村松(午後(内科)・西・福島医大(午前(整形外科))
16日(木) 関根・木村(皮膚科)
17日(金) 関根(午前)・佐川(午後)・玉井
20日(月) 関根(午前)・佐川(午後)・JCHO(内科)
21日(火) 関根
22日(水) 関根・村松(午後(内科)・西・福島医大(午前(整形外科))
23日(木) 関根・今村(婦人科)
24日(金) 関根(午前)・佐川(午後)・玉井
27日(月) 関根(午前)・佐川(午後)・JCHO(内科)
28日(火) 関根

(都合により変更あり)

*JCHO:独立行政法人地域医療機能推進機構

+ 浪江町応急仮設診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL0243(24)1431

■診療時間
4月～11月 9時30分～15時
12月～3月 10時～15時
■場 所 浪江町役場本庁舎内
■診療体制
水・土曜日……………災害医療センター医師
月・火・木・金曜日…津島診療所 峯廻医師
日曜日……………相馬郡医師会医師
※医師1名、看護師1名ずつ常駐
■診療内容 けが、病気等の初期応急手当

財務省 福島財務事務所から のお知らせ

■多重債務・貸金業に関する相談窓口
福島財務事務所では次のような相談を受け付けています。一人で悩まずご相談ください。

- 返済しきれない借金に関すること
- 貸金業者や、いわゆる「ヤミ金融」に関すること
- 不正に利用されている預貯金口座に関すること

▽相談窓口
財務省福島財務事務所理財課
(福島市松木町13-2)

▽受付時間
月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く)
8時30分～12時、13時～16時
30分(原則として)

▽電話
TEL024(533)0064
(多重債務相談窓口専用)

問 財務省福島財務事務所理財課

■「出前講座」のご案内
福島財務事務所では、小学生から高齢者の皆さまを対象に、金融や国の財政などをテーマに出前講座を行っています。講演

糸魚川大規模火災義援金の 受付について

平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災に対し、義援金の受付を開始しました。募金箱を浪江町役場二本松事務所・本庁舎・各出張所等に設置しましたので、皆さまのご協力をお願いします。受付は、3月27日(月)までです。



問 総務課行政係 TEL0243(62)0128

料は無料ですので、お気軽に福島財務事務所までお問い合わせください。

問 財務省福島財務事務所総務課
024(535)0301

■「個人版私的整理ガイドライン」のご案内
東日本大震災により被害を受けた方はガイドラインの活用で震災前からの住宅ローンなどが免除されます。

※債務の免除には一定の要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ先
一般社団法人個人版私的整理ガイドライン運営委員会
コールセンター
0120(380)883
福島支部
TEL024(526)0281

▽受付時間 平日9時～17時

「安波祭」 を開催します

■日時 2月19日(日) 10時～11時頃
■場所 笹谷東部応急仮設住宅
(福島市笹谷字片目清水36-4)

※福島市の北幹線第一応急仮設住宅より笹谷東部応急仮設住宅までの無料送迎バスが出ます。乗車をご希望の方は、2月15日(水)までに教育委員会事務局までご連絡ください。

安波祭無料送迎バス

- 集合場所 北幹線第一応急仮設住宅 集会所前
- 集合時間 9時20分(9時30分出発)
- 到着時間 11時30分頃
- 乗車人数 30名程度(先着順となります)

問 教育委員会事務局学校教育係 TEL0243(62)0301

ここからは広告です。

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

双葉ホンダモーターズ (旧 Honda Cars 双葉 浪江店) です。
本宮店・須賀川森宿店でお待ちしております。

Honda Cars 福島県央 本宮店
〒969-1165 本宮市本宮字中台21 営業時間 8:30～18:30 毎週水曜定休
TEL0243-24-8188

Honda Cars 福島県央 須賀川森宿店
〒962-0001 須賀川市森宿字向日向29-12 営業時間 8:30～18:30 毎週水曜定休
TEL0248-76-3115

HONDA

選挙の投票立会人の募集について

浪江町選挙管理委員会では、皆さんに政治や選挙に関心をもってもらい、選挙をもっと身近なものに感じてもらえるよう、投票立会人および期日前投票立会人として登録される方を募集します。

投票立会人とは、投票所での投票が公正に行われるための立ち会いをしていただく方で、満18歳以上で浪江町の選挙人名簿に登録されている方であればどなたでもなることができます。4月には、任期満了に伴う浪江町議会議員一般選挙が予定されていますので、ぜひご応募ください。

▽要件

満18歳以上で、浪江町の選挙人名簿に登録されている方

▽投票所(期日前投票所)設置予定市町村

二本松市、福島市、郡山市、いわき市、南相馬市および浪江町

※選挙の種類や時期により変更になることがあります。

▽立会日時

●投票立会人
投票日当日 7時から20時

浪江町東日本大震災6周年追悼式および東日本大震災慰霊碑除幕式のお知らせ

平成23年3月11日、午後2時46分に発生した震度6強の地震および沿岸部を襲った大津波により、浪江町内での死者・行方不明者は184名(町外の方2名を含む)にのぼり、600棟以上の家屋等が流失するなどの甚大な被害を受けました。

お亡くなりになった方々のご冥福と、行方不明者の方々が一日も早くご家族のもとへお帰りになることをお祈りし、町主催による追悼式を執り行います。

また、現在町営大平山霊園内に東日本大震災でお亡くなりになった方の慰霊碑を建立しています。当日はその除幕式も執り行います。

■日時
慰霊碑除幕式：平成29年3月11日(土) 11時から
大震災追悼式：平成29年3月11日(土) 13時から

■場所
慰霊碑除幕式：浪江町大字請戸町営大平山霊園
大震災追悼式：浪江町大字権現堂浪江地域スポーツセンター

※ご遺族の方は、平成29年2月3日(金)までに欠席回答票をご返送ください。

※町営大平山霊園は駐車場が無いので、浪江地域スポーツセンターから送迎バスを運行します。慰霊碑除幕式にご出席の方は、10時30分までに浪江地域スポーツセンターへお集まりください。

問 介護福祉課福祉係 TEL 0243(62)4737

●期日前投票立会人
選挙期日公示日(告示日)の翌日から選挙期日の前日まで 8時30分から20時
※期日前投票所の設置期間および時間は、投票所ごとに異なりますので、詳しくは選挙管理委員会までお問い合わせください。

▽報酬

●投票所の投票立会人
日額 10,700円
●期日前投票所の投票立会人
日額 9,500円

▽申込方法

「投票立会人登録申込書」を浪江町選挙管理委員会(浪江町役場二本松事務所総務課内)に提出してください(郵送可)。申込書は、二本松事務所総務課で配布しています。また、町ホームページからダウンロードすることもできます。

度登録されずと選挙のたびに申込み必要はありません。なお、登録されても必ず選任されるとは限りませんので、ご了承ください。また、個人情報の取扱いについては、適正に管理いたします。その他詳細につきましては、浪江町選挙管理委員会までお問い合わせください。

ここからは広告です。

田村市船引町で営業しています。

サンプラザ観光 特選バスツアー
3/25日(土) 春休み in 東京ディズニーリゾート!
参加費用:大人¥14,500- / 中・高生¥13,500-
4才以上~小学生¥11,900- / シニア¥13,800-
心に残る旅の思い出作りをお手伝いさせていただきます。
(株)サンプラザ観光 福島県知事登録旅行業 第2-349号
〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9 ふねひきパーク店
TEL:0247-73-8097 FAX:0247-73-8098
代表取締役 先崎 教一郎

「うまく話せないかも…」「これって法律問題なのかな?」「誰に相談すればいいの?」「我慢すれば…」
⇒そんな悩みをお持ちの方、一人で抱え込まないで、まずはお電話を。

二本松法律事務所
(弁護士:井上 航) TEL: 0243-23-0795(予約制)
初回は相談無料。土曜日にも相談対応します。
*よまず法律相談もお気軽にご相談ください。月~土 9:00~17:00
二本松市若宮2-163-1 NTT二本松ビル4階 (警察署隣・NTTドコモ右隣入口) (電話受付は平日のみ)

なみえタブレット 通信

イベントや趣味の交流会の開催告知、サークル活動の様子などを、ご自身で「なみえ新聞」に投稿してみませんか?

「町民に参加を呼びかけたい!」
「活動の様子を見て欲しい!」
そんな元気な声を、なみえ新聞を使って是非発信してください。簡単なライター登録が必要です。

新規ライター申請

「なみえ新聞」の記者申請を行います。以下の全項目を入力して、「確認へ」ボタンを押してください。
※あとで変更できます。

名前(本名) ※本名をお書きください。

ペンネーム ※なみえ新聞で表示されます。

メールアドレス

電話番号 ※ハイフンなし 半角数字 例:08012345678

パスワード ※半角英数字 8文字以上

【ライター登録方法】

- ①なみえ新聞ライターのページにアクセスします。
<https://writer.namie-tablet.jp/>
- ②必要な情報を入力し、送信します。
- ③なみえ新聞ライター承認の連絡がくれば登録完了です。



タブレットのお問い合わせ番号が0で始まる方と次年度以降タブレットの利用を継続されない方へ

2月からいよいよ!

訪問回収の日程調整のお電話を開始します。

スムーズな回収ができますよう、皆さまのご協力をお願いします。
写真、動画、LINE アプリ、その他ゲームアプリ等のバックアップと引き継ぎ設定を忘れずに行いましょう。回収後は、いかなる問い合わせにもお応えできません。
※「写真データ保存」の申込みをされた方は、写真と動画の保存は回収後にこちらで行います。

【タブレットのお問合せ番号0(ゼロ)で始まる方へ】

町民の皆さんから寄せられたタブレットの交換(リコール)に関する質問をご紹介します。

Q:新しいタブレットになると、毎月お金がかかるって本当?

A:町民の方に通信費など利用にかかる費用を請求することはありません。これまでと同様、タブレット事業は国からの支援により成り立っています。※ただし利用中の故障修理費用につきましては、利用者負担となりますのでご了承ください。

Q:業者が訪問した際、回収するのはタブレット本体だけですか?

A:最初に付属していた充電コードとアダプタをお持ちであればお渡しください。本体のみを渡された場合は、新しい本体のみをお送りします。

操作方法に関するお問い合わせは、浪江町タブレットサポートセンターへ
☎ 0800(919)3287 受付時間9時~17時15分(平日のみ) ※通話料無料

問 復興推進課 情報統計係 TEL 0243(62)4731 FAX 0243(22)4218

広報なみえ・お知らせ版の発送について

町で発行している広報なみえ（毎月1日）とお知らせ版（毎月15日）は、1居所につき1部の送付を行っています。

復興公営住宅への入居などに伴い避難先の変更があった方、これまで別々にお住まいだったご家族が同居するようになった方など、次に該当する場合には対応しますのでご連絡ください。

- 同住所に広報誌が2部以上届いている
- 世帯分離などで広報誌が新たに必要になった（ご家族が別々の場所にお住まいの場合など）
- その他、広報誌の発送に関すること（広報送付者の宛名の変更など）

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

避難先を移動された方はご連絡ください

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先が分からないと、町からの情報（広報誌、各種通知、お知らせ等）が届かなくなりますのでご注意ください。

◆ 避難住民届に関する問い合わせ ◆
問 総合案内 TEL 0243(62)0123

自動車の登録・検査の手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。

問 東北運輸局福島運輸支局
(福島市吉倉字吉田54)
登録・検査関係
TEL 050(5540)2015

避難状況 (12月31日現在)

都道府県	人数	対11/30	都道府県	人数	対11/30
北海道	70	0	滋賀県	4	0
青森県	37	0	京都府	30	0
岩手県	38	0	大阪府	62	0
宮城県	826	4	兵庫県	21	0
秋田県	53	-2	奈良県	6	0
山形県	155	-3	和歌山県	0	0
福島県	14,470	-7	鳥取県	0	0
茨城県	1,015	8	島根県	6	0
栃木県	469	-1	岡山県	20	0
群馬県	161	0	広島県	14	0
埼玉県	698	-6	山口県	0	0
千葉県	567	4	徳島県	1	0
東京都	878	1	香川県	5	0
神奈川県	446	5	愛媛県	13	0
新潟県	412	-1	高知県	5	0
富山県	13	0	福岡県	15	0
石川県	26	0	佐賀県	4	0
福井県	11	0	長崎県	12	0
山梨県	47	1	熊本県	6	0
長野県	50	0	大分県	5	0
岐阜県	15	0	宮崎県	9	0
静岡県	57	0	鹿児島県	7	0
愛知県	35	-1	沖縄県	20	0
三重県	5	0	国 外	14	0

平成29年度 予備自衛官補を募集します

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり予備自衛官補を募集します。

募集項目	予備自衛官補（一般）	予備自衛官補（技能）
受付期間	平成28年12月22日(木)～平成29年4月7日(金)	
募集人員	東北方面隊管内（約100名）	東北方面隊管内（約20名）
応募資格 (平成29年7月1日現在)	18歳以上34歳未満（男女）	18歳以上で国家免許資格等を有する者 技能に応じ53歳～55歳未満（男女）
試験期日	平成29年4月14日(金)、15日(土)、16日(日)、17日(月)、18日(火)のいずれか1日を指定	
合格発表	平成29年5月19日(金)	
受験会場	受付時にお知らせします。	

※技能応募に必要な資格や受験案内の配布および試験に関する内容は、右記の地域事務所にお問い合わせください。

申・問 自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所
〒975-0033 南相馬市原町区高見町1丁目142-2
TEL・FAX 0244(23)4712

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

行くしかない!! 合同就職面接会 in 相双



- ▷日時 2月10日(金) 13時～15時30分（受付12時30分～）
 - ▷場所 ゲストハウスフェリーチェ（旧ウエディングパーク相馬フローラ）相馬市馬場野字福迫391-2
 - ▷参加企業 30社程度
 - ▷その他 参加無料、入退場自由、予約不要、服装自由
- ※面接希望者には「自己紹介カード」を書いていただきますので履歴書は不要です。「自己紹介カード」は、事前に協議会ホームページよりダウンロードできます。履歴書を持参いただき、希望企業に渡していただくことも可能です。

就職相談



「福島県内で働きたい」「就職活動をしているけどなかなか決まらない」「働かなければならないけど踏み出せない」という方、一人で悩まずにご連絡ください。資格を持った相談員が全力で相談に応じます。

- 電話で相談 → 専用フリーダイヤル 0120(810)650 平日 9時～16時30分
- メールで相談 → URL <http://fkkoyou.net/>
- 窓口で相談 → 平日 9時～16時（予約者優先）
福島広域雇用促進支援協議会 中町窓口
福島市中町4番20号 みんゆうビル202
TEL 024(524)2121

職場体験実習 「大人のインターンシップ」



県内の320以上の事業所の中から興味や関心のある仕事を体験していただけます。実際の現場で仕事への理解を深めることができます。未体験の職種やプランクのある仕事を体験できるチャンスですので、ぜひお気軽にお申込みください。お申込み受付後、事前打合せの上、随時実施いたします。

▷受入事業所
当協議会ホームページでご覧いただくか、職場体験実習の受入事業所一覧をお渡しいたします。お気軽にお問い合わせください。

▷期間 1～3日間
※ご協力いただける受入事業所も募集しています。

放射線に関する企業向け出張セミナー 限定15社



講師が企業に訪問して、放射線に関するセミナーを開催します。就労希望者へ正確な情報提供をすることで不安を払拭していただき、雇用の確保につなげます。また、社員教育や研修、企業のイメージアップにもご活用ください。お申込み受付後、事前打合せの上、随時実施いたします。

▷内容（講習時間 1時間～1時間半）

1. 私たちの周りの放射線はどうなっているの
2. 知っておきたい放射線の影響に関することから
3. ふくしまで働くための生き生き健康法
4. 原発周辺地域でのリスク管理

その他、企業特有のお悩みなどを事前に確認し、ご要望に合わせた内容も盛り込みます。

▷開催期間 2月28日まで（平日9時～17時の間）

▷会場 申込み企業の会議室、食堂、フリースペースなど

▷人数 少人数から受け付けます。

共通事項

- 受講料・テキスト代は無料です。
- 当協議会の各種セミナー、講習会、面接会へご参加いただいた方（雇用保険受給者）で、証明書が必要な方へ参加証明書を発行します。
- 詳しくは、ホームページをご覧ください。

申・問 福島広域雇用促進支援協議会浪江窓口
(浪江町役場二本松事務所内)

TEL 0243(24)9310

FAX 0243(24)9315

URL <http://fkkoyou.net/>

働きたいネットで検索

● ホームページトップQRコード



わたしたちのまち

(平成28年12月末現在)

人口	18,493人
男	8,993人
女	9,500人
世帯数	6,966戸

☎ 町民税務課住民係 ☎ 0243(62)0129

お誕生・お悔み欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。

☎ 復興推進課情報統計係 ☎ 0243(62)4731

お誕生

出生届は14日以内に

10月	こどもの名(性別)	親の名	住所
10月	神保直哉(男)	博美・美津枝	牛渡
11月	佐藤羽純(女)	卓也・美穂	権現堂
	桑原海斗(男)	正行・未来	立野
	三瓶琥雅(男)	歳幸・結衣	酒田
	池田芽生(女)	稔也・涼子	樋渡
	吉野裕平(男)	洋平・喜美恵	末森
	三賀森信(男)	誠・由佳	赤宇木
	古田奈月稀(女)	亮一・麻奈美	酒井
	小澤凜斗(男)	凌・舞	川添
	鳥丸日向汰(女)	弘樹・礼菜	北幾世橋
	大久愛唯梨(女)	晋秀・梨沙	川添
	勝山琉斗(男)	利久・律子	立野
	八橋蒼人(男)	拓海・沙希	立野
	愛澤優羽(女)	亮輔・美穂	小野田
12月	高野豪(男)	幸二・志保	川添
	田中奏(男)	政之・彩香	川添
	野崎優莉(女)	義則・靖子	樋渡
	渡部海宥(女)	怜史・潤子	北幾世橋
	武内悠真(男)	貴洋・明日香	北幾世橋
	森心(女)	寿一・希	幾世橋
	志賀淳之介(男)	信太郎・友美	井手
	木幡紅蘭(女)	勇貴・学実	田尻
	鈴木徠斗(男)	千春・仁美	樋渡
	中島和奏(女)	和貴・麻美	川添
	大和田悠月(女)	高博・明枝	川添
	桑原しほく(女)	宏明・智恵	川添
	横山喜(男)	貴大・千里	立野

消防署からのお知らせ

住宅防火 いのちを守る ~7つのポイント~

3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対やめる
- ②ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- ③ストーブは燃えやすいものから、離して使用する

4つの対策

- ①住宅用火災警報器
- ②防炎品
- ③住宅用消火器等
- ④隣近所の協力体制

住宅用火災警報器を設置しましょう!

点検方法

半年に1回は点検しましょう!

音が鳴らない場合→異常
この場合は電池切れまたは本体の故障のためすぐに交換してください

火事と救急は119番

〈消防署連絡先〉
浪江消防署 ☎ 0240(34)7360
富岡消防署 ☎ 0240(25)2119

お詫びと訂正

平成28年広報なみえ12月号に掲載された、新成人名簿に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

笹木 大陸 (誤) 幾世橋 → (正) 浪江

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
10月		
熊谷隆志	50歳	加倉
11月		
村上フクヨ	75歳	川添
藤田好子	68歳	樋渡
今野マツヨ	90歳	赤宇木
豊田二郎	92歳	権現堂
中野哲雄	78歳	榎塩
井上サクヨ	83歳	小丸
渡部カメノ	92歳	下津島
齋藤貞子	88歳	酒井
居村トミノ	89歳	小野田
末永シチ	101歳	藤橋
松本安志	96歳	立野
田中英子	85歳	南津島
大河原ミツ	92歳	室原
石井一男	90歳	西野
佐藤ミツ	91歳	立井
吉田一	75歳	井手
竹原信	82歳	請戸
吉田マサ	96歳	室原
松浦春夫	66歳	加倉
佐藤エイ子	89歳	刈宿
12月		
官野哲夫	63歳	幾世橋
上野功	78歳	権現堂
村山豊	80歳	酒田
田村寛	74歳	末森
末永一男	79歳	藤橋
叶谷万吉	89歳	請戸
渡部イネ	92歳	川添
横山あゑこ	93歳	榎塩
金沢榮子	84歳	立野
上田邦雄	84歳	権現堂
中谷ちい子	67歳	酒井
石田ヨシミ	103歳	権現堂

つながる ところ

町民の皆さんからお寄せいただいた情報を掲載します

浪江高校・浪江津島校同窓生の皆さんへ 休校式開催のお知らせ

浪江高校・浪江高校津島校合同休校式

■日時 平成29年3月1日(水) 11時35分開式(卒業式後)
■場所 サンライズもとみや(本宮市本宮字矢来39-1)
☎ 0243(33)2611

※9時30分~11時15分までは卒業式を挙行しておりますので、入場は11時15分からとなります。

【出席には事前のお申込みをお願いします】

- お申込み 浪江高校 ☎ 0243(33)2114 (担当:高木)
浪江高校津島校 ☎ 0243(23)2327 (担当:夏目)
 - ①お名前 ②電話番号 ③浪江高校、浪江高校津島校の別
 - ④同窓生、同窓生の家族、震災後他校に転校の別
- FAXによる申込み(上記の4点と休校式出席希望を明記の上、様式は任意)
浪江高校 FAX 0243(33)2111 浪江高校津島校 FAX 0243(23)2383

※これは双葉地方の方々にお知らせしております。他地区にお住まいの同窓生の方々にも休校式の開催についてお伝えください。

緊急情報の伝達訓練を実施します(全国一斉訓練)

訓練実施日時 2月21日(火) 11時ころ

浪江町は、地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな手段を用いて確実に皆さまへお伝えするため、情報伝達訓練を実施します。

■訓練で行う放送試験・配信

情報伝達手段	内容	情報伝達手段	内容
防災行政無線	【放送内容】 <上り4音チャイム> 「これは、テストです」×3回 「こちらは、ぼうさいなみえ広報です」 <下り4音チャイム>	浪江町メールマガジン 浪江町公式フェイスブック	【配信内容】 「これは、テストです」 「こちらは、ぼうさいなみえ広報です」

注) 浪江町以外の地域でも、全国的にさまざまな手段で情報伝達訓練が実施されます。
注) 災害等により訓練が中止される場合があります。

Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

☎ 帰町準備室危機防災係 ☎ 0240(34)0229

大型ドライバー大募集 !!

初心者歓迎!

車が好きな方・運転が好きな方
大型トラックドライバーになりませんか?

正社員/給与: 会社規程により優遇/各種社会保険完備
※随時面接受付中 まずはお電話ください。

あなたの力が必要です!

浪江貨物自動車株式会社
福島県福島市成川字上谷地30
TEL 024-545-7711
http://www.namie-kmt.com/



橘 光顕さん(幾世橋)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋
取材日：12月1日

自分のできることをやっていきたい



▲植樹した河津桜

高校まで浪江で暮らし、東京での演劇活動を経て、浪江に戻った橘さん。再スタートの道が開けた時に起きた震災。一時は歌うべき歌をなくしましたが、今は、上尾シラコバト団地で立ち上げた「東日本大震災に咲く会 ひまわり」の中心で活躍しています。

◆シンガーソングライターを浪江町から輩出したかった
中学時代にギターを始め、友だちとバンドを組んでいました。高校までは浪江にいて、大学進学を機に東京で暮らし始め大学在学中から、演劇活動をやっていました。日比谷公会堂で主役を演じたこともありましたが、40歳の頃、体を壊して浪江に戻りました。高校時代には、浪江にも楽器を扱う店が3店舗ありましたが、40歳で戻った時には1店舗も残っていませんでした。これからは楽器を始めたくても始められない。ギターを始めるときの助けにならない。シンガーソングライターを浪江町から輩出できればと思うようになりました。様々な仕事に就いてお金を貯め、震災の年の春には、弾き語りコース以外に作詞作曲コースを併設する予定でした。フローリングの床にして、物はほとんど置かず、音が響くようにしました。今後、浪江に帰

岩手や宮城から避難して来た人たちも含めて多い時には、61世帯もの人たちがここで暮らしていましたが。震災から5年半を過ぎ、今は22世帯の人たちが暮らしています。避難して来てすぐの4月29日に、団地の自治会が歓迎会・激励会を開催してくれました。物が無い、情報がないといった状況の中で、ばらばらでは困りごとも解決できないと、その会に集まった避難者の15世帯で会を立ち上げました。毎年3月11日には、団地内で追悼式を執り行っています。河津

◆「東日本大震災に咲く会 ひまわり」の立ち上げ
震災直後、避難指示を受けて津島に避難しましたが、避難所はいっぱい、川俣に行くと言われました。川俣の避難所も入れる可能性は低いと思ひ、コンビニの駐車場で車中泊。葛尾村、福島市、会津坂下を経て、埼玉の友人宅にお世話になり、そこで県営住宅の募集を知りました。その友人が貸してくれました。避難して来た当初、たまたまテレビの取材を受け、部屋には何も無いと話したところ、沢山の家電製品が集まりました。シラコバト団地自治会や私の友人から寄付してもらった日用品も含め、すべて自治会倉庫に置かせてもらい、希望者の部屋まで運びました。

◆自分ができることをやっていく
震災後、半年くらいはギターを弾きませんでした。弾くべき曲がなくなってしまうからです。震災から半年たったころ、ギターが自分自身を呼んでいる様でした。9月には曲を書き始め、その後は湧き出るに任せ、今では90曲くらいになりました。演奏依頼があれば、出かけてオリジナル曲を披露しています。ここまでがんばれたのは、人の力だなと思います。「誰も助けてくれない」という声を聞くことがあるけれど、自分ができていることをやれば、周囲の人からの支えの手も出てきます。昨年からは、団地の夏祭りの実行委員長も引き受けています。埼玉県は、県内に避難中の被災者用に入居条件を緩和して、シラコバト団地だけでも50戸の入居募集を1月に行います。転入して来た人たちが安心して暮らせるように、「ひまわり」の活動を続けて行きます。



▲ギターを手に歌う橘さん

浪江のころ通信

●第68号●

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のころ通信」が編集・発行されます。

浪江のころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこたわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のころ通信」第68号への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のころ通信」宛
FAX.0243(22)4218





福島県

大平 美保さん(川添)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山・松田
取材日：12月24日

子どもには、いつか、 ママが育ったまちを見せたい



▲美保さんと莉愛ちゃん。親子で素敵な笑顔、ありがとうございました。

震災の年の12月に結婚され、今はいわき市内郷の宮沢団地で、ご主人と2歳になる娘の莉愛ちゃんと3人で暮らしていらっしゃいます。

陽の光がいっぱいに入るリビングや和室で、莉愛ちゃんは楽しそうに遊んでいました。これからの健やかな成長を心から願わずにはられません。

入らずに、車にいました。サイレンと共に津島への避難を呼びかけていた防災無線の放送を聞き、荷物も持たずに小学校の体育館に行きました。そこには友だちがいて、とても嬉しかった

◆避難中のさまざまな情報は、もっぱら彼や友人知人との携帯でした
震災の時、私は21歳で、浪江町役場近くの「みよし浪江店」に勤めており、あの時刻にはお客さまもいなく、遅い昼食を摂っていました。その時、6号線傍の消防署から避難のアナウンスが流れ、実家に戻りましたが、外側は然程でもないのに、家の中は足の踏み場もないほど物が散乱してしましました。幸いにも水道も電気も止まらなかったのですが起きたのかの状況を知ることができ、両親と弟、家族4人で相談し「ちよつとでも浪江から離れよう」と、その日の夕方には原町まで避難することにしました。

◆この団地は、以前の住まいよりは一寸不便だけれど、気に入っています
夫とは以前から浪江といわきで離れていたこともあり、11月には私がいわきへ移り住むことにしました。結婚したのは12月でしたが、なかなか新居が見つからず、市内のアパートを一生懸命探し、ようやく住むことが出来ました。

◆避難指示解除後への思い
浪江町荻野にある自宅はハクジンなどの動物たちに荒らされ、住める状態ではありません。ですが、娘の家が浪江にあり、そこは住めそうなので浪江に向いたとき借りて泊まれたら、と思っています。避難指示解除後は、様々な会合が浪江で開催されることになるでしょう。その時は、浪江に向き合いに出席し、友人知人と会っていろんな話がしたいですね。

◆避難指示解除後への思い
浪江町荻野にある自宅はハクジンなどの動物たちに荒らされ、住める状態ではありません。ですが、娘の家が浪江にあり、そこは住めそうなので浪江に向いたとき借りて泊まれたら、と思っています。避難指示解除後は、様々な会合が浪江で開催されることになるでしょう。その時は、浪江に向き合いに出席し、友人知人と会っていろんな話がしたいですね。

◆避難指示解除後への思い
浪江町荻野にある自宅はハクジンなどの動物たちに荒らされ、住める状態ではありません。ですが、娘の家が浪江にあり、そこは住めそうなので浪江に向いたとき借りて泊まれたら、と思っています。避難指示解除後は、様々な会合が浪江で開催されることになるでしょう。その時は、浪江に向き合いに出席し、友人知人と会っていろんな話がしたいですね。



栃木県

中里 恵子さん(加倉)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 遠藤
取材日：12月8日

家族の助け合いを実感、 いつかは食堂を再開できたら！



▲自宅のリビングで

震災前は、川添北上ノ原地区で「みどり食堂」を営んでいた中里さん。焼きそば、カツ丼、うどんなどが人気メニューでした。震災後は、お客様達が年に1度開いてくれる交流会「みどり会」が楽しみだそうです。平成27年5月からは、栃木県那須塩原市に自宅を新築し住んでおられます。

◆震災後は那須町に避難
発災後は、津島で2日間過ごした後は那須町に移動。友人や従業員、親族と9人で避難しました。昨年、那須塩原市に引越すまで、約5年半以上那須町を生活の拠点にしてきました。現在は、娘と孫と一緒に暮らしています。夫は7か月間の闘病生活を経て、平成25年5月に他界。孫が時折「おじいちゃんには優しくしたね」と思い出話をしてくれます。私の避難生活は、娘や親族が近くにいたり友人に恵まれたので、それほど苦労することはありませんでした。ただ、心残りなのは親戚や私の兄弟姉妹がバラバラになってしまったことです。浪江に住んでいた

◆忙しくも楽しかった食堂経営
私は子どものころからスポーツが大好きでした。バレーボールは地域で「荻野クラブ」というチームを結成して楽しめました。町の大会で優勝したこともあったんです。サンプラザにあった運動教室にも通って、そこで友人がたくさんできました。その時の運動仲間から震災後に手紙が来ることもあり、つながりの大切さを感じていくところでした。

◆忙しくも楽しかった食堂経営
私は子どものころからスポーツが大好きでした。バレーボールは地域で「荻野クラブ」というチームを結成して楽しめました。町の大会で優勝したこともあったんです。サンプラザにあった運動教室にも通って、そこで友人がたくさんできました。その時の運動仲間から震災後に手紙が来ることもあり、つながりの大切さを感じていくところでした。

◆忙しくも楽しかった食堂経営
私は子どものころからスポーツが大好きでした。バレーボールは地域で「荻野クラブ」というチームを結成して楽しめました。町の大会で優勝したこともあったんです。サンプラザにあった運動教室にも通って、そこで友人がたくさんできました。その時の運動仲間から震災後に手紙が来ることもあり、つながりの大切さを感じていくところでした。

◆忙しくも楽しかった食堂経営
私は子どものころからスポーツが大好きでした。バレーボールは地域で「荻野クラブ」というチームを結成して楽しめました。町の大会で優勝したこともあったんです。サンプラザにあった運動教室にも通って、そこで友人がたくさんできました。その時の運動仲間から震災後に手紙が来ることもあり、つながりの大切さを感じていくところでした。

連絡先一覧

■浪江町役場二本松事務所

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0123 FAX 0243(22)4261

■浪江町役場本庁舎（復興再生事務所）

〒979-1592
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL 0240(34)2111

■福島出張所

〒960-8601
福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024(535)0750 FAX 024(535)0753

■本宮出張所

〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243(44)1185・1186
FAX 0243(44)1187

■桑折出張所

〒969-1611
伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024(582)2130 FAX 024(582)2135



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

■いわき出張所

〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246(24)0020 FAX 0246(24)0026

■南相馬出張所

〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
TEL 0244(23)1112 FAX 0244(23)1114

■浪江町議会事務局

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0196 FAX 0243(22)4231

■浪江町教育委員会

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0301 FAX 0243(22)4223

■浪江町社会福祉協議会

〒964-0984
二本松市北トロミ520番地
TEL 0243(62)0877 FAX 0243(23)7970

■仮設津島診療所

〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243(24)1431

ここから下は広告です。



客室のご案内

シングルルーム	5,400円	*朝食サービス
ダブルルーム	7,500円	*専用駐車場有(有料)
ツインルーム	9,000円	*禁煙ルーム有

HOTEL なみえ

チェックイン 15:00 / チェックアウト 10:00
主要アクセス
JR常磐線/高速バス いわき駅南口より徒歩3分
〒979-8026 福島県いわき市平字南町63-1
TEL0246-24-2555 / FAX0246-22-0512

- ◇ クレーン作業
- ◇ 工事車両リース・レンタル
- ◇ トレーラー・トラック運送



株式会社 伊達重機

【植葉事務所】〒979-0606
福島県双葉郡植葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL0240-25-8753 / FAX0240-25-8783

【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0123(代表) FAX 0243(22)4218
http://www.town.namie.fukushima.jp